

ウイングアーク 1 s t 株式会社

日本トップシェアの BI ツール MotionBoard に CData JDBC Drivers を組み込み
 ~ユーザーのデータ活用、業務自動化、AI、IoT など幅広いデータニーズに素早く対応可能に~

ビジネスのストーリーを紡ぐヒト・モノ・あらゆるデータを可視化する人気の BI ツール MotionBoard における SaaS および NoSQL 連携に CData JDBC Drivers が採用されました。複雑なクラウドデータや NoSQL データへの連携の標準化に成功し、ユーザーの多様なデータのビジュアライズ、業務自動化や AI 活用、IoT での利用などをスピーディにサポート可能に。

Challenges

- ・ 増加する SaaS や、NoSQL への対応
- ・ API の JSON の構造、クエリ、認証などの仕様がサービス毎に大きく異なる
- ・ “実データを触らないとわからない”

Solutions

- ・ CData JDBC Drivers の組み込み
- ・ ユーザーへの追加データソース課金なし
- ・ ウイングアークが主催するデータ活用コンテスト「Datolympic」などで新しいデータに触ってもらう機会を拡大



CData Drivers で、kintone、BigQuery、Access データを MotionBoard に統合

MotionBoard のデータソース拡充を担当されている技術本部 MotionBoard 開発部 アーキテクト 高橋慶氏にお話を伺いました。

Q: 昨今の BI のニーズ変化は？

高橋氏：BI のニーズはもう決まった業務データをダッシュボードで可視化するという事に留まりません。業務データや IoT のデータに対し、閾値を設定してのアラートや、社内のコミュニケーション基盤との連携、AI プラットフォームとの連携などよりインテリジェントな活用が増えています。BI の操作もベンダーではなく、ユーザーが自律して使うようになっています。それにともない、「こんなデータも分析したい」という声が多く聞かれるようになりました。リクエストが多いものが SaaS データや、NoSQL データです。

ユーザーはデータをつなぎたいわけではありません、分析したいのです。なのに多くの時間をデータをつなぐことに割かなければならないのは大きな問題でした。従来の方法ではそこから API の公開有無を調べ、開発アカウントを取得して、そこから開発です。そのうえ、それぞれの API レスポンスのネスト構造、クエリ方法、ページング、認証といった連携方法が大きく異なるため、MotionBoard でデータを使えるようにするには多くの時間とコストが必要でした。

Q: CData JDBC Drivers を選んだポイントは？

高橋氏：100 を超えるデータソースを MotionBoard で使いやすいテーブルデータにしてくれること、それにより、ユーザーからデータ活用ニーズがあったときにすぐにデータを使える環境を提供できる点に尽きます。**認証、REST のテーブル化処理、クエリといったデータ接続に手間取る部分をすべてドライバーで対応してくれます。**グローバルなデータソースに加え、kintone や PCA 会計などの日本のデータソースもサポートしている点もありがたいです。



技術本部 MotionBoard 開発部 アーキテクト高橋慶氏

Q: 増加したデータソースは、どのような普及方法を考えていますか？

高橋氏：MotionBoard の現行版では 4 データソース、近く 26 データソースが利用可能になります。**MotionBoard の一定のプランのユーザーは追加課金なしで、これらのデータソースを使うことができます。**とにかくユーザーには煩わしさを感ぜずにデータを使ってほしい。これが「Data Empowerment Company」である当社の方針です。

そんな思いから、当社製品を使ったハッカソンである Datalympic 2019 では、CData の全データソースラインアップを利用可能にします。NoSQL や Twitter などの SNS、Twilio などの電話・SMS、各種オープンデータなど多様なデータソースを自由に使っていただいて、新しいデータ活用の方法を見つけてください。



Datalympic 2019: <http://www.wingarc.com/datalympic2019/>



ウイングアークオフィスの受付前で

	<p>ウイングアーク 1 s t 株式会社 本社：東京都港区 設立：2004 年 3 月</p> <p>同社ウェブサイトより</p>
--	--

CData は、米 CData Software, Inc. の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。